



もり  
森林の風

特定非営利活動法人  
森林の風  
会長 蒲田 博  
2011.9.30. 発行

第9号

だ よ り

本田技研工業(株)鈴鹿製作所

三重銀行森林倶楽部

第10回森林保全ボランティア

第1回植樹祭「蘇れ、カモシカの森！」



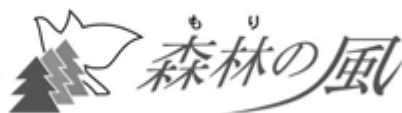
2011.9.22(木): 亀山市向井

今回は植樹中心の活動でした。毎回参加されている方は森の歩き方道具の使い方も手慣れたもの。「森が明るくなったなー」との感想をいただけてうれしいかぎりです。

2011.9.25(日): 御在所岳頂上

子どもたちにもたくさん参加していただきしゃくなげなどの在来種を植樹をしました。ともにすくすくと育てほしいものです。山頂での再会を楽しみにして...!

森林施業 NPO法人



連絡先 / 〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088

<http://www.morinokaze.info>

\*詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。

森林保全活動が続けていく中で楽しみのひとつに、いろんな方との出逢いがあります。共感したり、尊敬したり、もっと学びたいと思ったり。せっかくの出逢いを大切にしたい、そんな森林の風からのラブコール。

今回は、「NPO法人里山倶楽部」で活躍中の西川さんに受けていただきました。現在、森林の風でも女性メンバーが増えつつあります。他の団体で既に活躍されている女性は、いま何を思い、どんな活動をされているのでしょうか？



NPO法人里山倶楽部

西川 阿樹

この秋で、私が里山通いを始めてから丸5年になります。

きっかけは、「NPO法人里山倶楽部」で募集のあった『炭焼き師養成講座 窯の穴』に参加したことでした。以来5年間、夏場は草刈り、冬場は木い伐りに炭焼き・薪作り、といったサイクルの日々があっという間に日常となりました。各種受け入れ事業、イベントのスタッフ等もします。また、『学校林活動』では、地域の暮らしや自然の大切さを地元小学生に伝える授業のお手伝いをするなど、沢山の楽しい経験をさせて頂いています。私はもともとキャンプリダーの活動が大好きで続けたかったので、そのキャンプリダーの延長線上の仕事がここにはあって願ったり叶ったり。毎日が幸せな瞬間で溢れています。

\*

\*

\*



話は変わりますが、先日、研修で高知県を訪れた際「大阪にも林業女子がいたんですね！」と少し驚かされてしまいました。... いますイマス、里山倶楽部にも。今は林業系作業メンバーで実働する女性は私ですが、歴代には刈払い機やチェーンソーを扱われる女性の先輩が何人もおられました。

女性がこういった活動を継続していく理由には、仕事内容や体力的に... という他、結婚や子育てなどが人生において男性よりも少しだけ密接で？より必要で、と生活の中の事情が“今”に迫ってくるのかもですね。勿論、そういう私も 例外ではないでしょう。だからこそ余計“今”を大切に、おじちゃん達との作業の毎日を楽しみたいと思っています。

ともあれ先日の研修先では、女性であるということがコミュニケーションのいいきっかけとなりました。女性であれ男性であれ、時間が経てば関わり方もまた変化するにはしても、休憩時のケアや作業の事務方、やれることは、探せばいくらでもありそうですね。女性はその場に居るだけで空気が和む！ということもあります。自分の身の丈に合わせつつ、自分らしさや女性らしさも活かしながら関わっていきたくと思っています。

倶楽部から行かせて頂いた幾つかの研修では、他の地域の山を見たり、他団体の活動を見学させて頂いたりすることで、良くも悪くも、自分や、自身の所属する団体の活動を振り返るいい機会となりました。使われている道具や安全管理の仕様を見るだけでもいい勉強になります。外へ目を向けていく事は、とても大切なことだと思いました。おススメです！

\*

\*

\*

目下、私の悩みは日焼けです。シミ・ソバカス、 年後にはどうなることやら。考えると... 思いやられます。そして、維持。これは悩みとはまた違うのですが、今まで里山倶楽部でつながれてきたバトンを、大切に、次につながらなくてはということです。





活動を始めてから知ったのですが、聞けば亡くなった祖父は昔山守りさんだったそうです。納得と感謝と、不思議なご縁に導かれるままに・・・

今日も笑顔で里山通いを続けています！

## 報告 Report 森林の風の‘いま’

【瀧口】

### 7年目に

早いもので気が付くとNPO設立以来7年目に入りました。森林ボランティアから一步進んだセミプロ集団を目指して走ってきました。同じような活動グループが少なかったこともあり、会員のみなさんの得意、不得意を問わない参加もあって、ここまでやってこられたことは予想以上の成果です。また行政及び林業家など、多くの方々のご支援があってこそと、この場を借りてお礼を申し上げます。今後ともよろしくご指導ください。

### 次のステップに向けて

これからがNPO活動の本番とも言えます。やっと認知を受け歩き始めた集団として、以下のような考え、態勢で運営、活動していきます。

事務局メンバーを増やし、森林関連の情報発信基地を目指す。

安定した収入の確保。

安定した活動には不可欠です。この件につきましては平成24年より賛助会員の募集をし、認定NPO法人として認可される事を検討していきます。

次世代の人材育成。

「まちのきこり人育成講座」を通じて林業に関わる人材を育てること、次世代の会員育成を目標にしつつ、引き続き会員の知識及び技術の向上を目指したいと考えます。

### その1. 施業地なう！ …竹林&植樹地…

今年最初の施業契約で共に0.5畝程度ですが、1ヶ所は鈴鹿市下大久保地区自治会所有竹林で、「竹ポットによる育樹事業」の竹ポット供給源として活用します。地縁組織との賃借契約は発足当時から初めてとなります。右の雑木林は、三重県の所有地で四日市市内西山町にあり、11月6日に国際森林年行事として県や四日市青年会所との協同植樹イベントを開催予定する予定です。



### その2. 事務局なう！ …木こり人の資料室…

菟野町「まなびの森」に新しく建屋が完成しました。今後はこの中に森づくりや森林、樹木、花など「森林の風」にふさわしい図鑑や参考書、資料を置き、みなさんお立ち寄りの際には、見て参考にしていただけるよう「木こり人の資料室」として活用していきたいと考えています。皆さんからの寄贈も歓迎いたします。少しずつ充実させていきたいとも思っていますのでよろしくお願いいたします。



## SIDE 1 . 植物図鑑

## クサギ

クサギ(臭木)はかわいそうな名前ですが、実際葉の香りが臭い。ほとんどの人がそう感じます。落葉広葉樹ですが春の新芽はおひたしなどにして食べるとおいしい木です。その花が8月から9月にかけて咲いていますが、葉の匂いとは対照的にすごくいい香りがします。



クサギの花

例えば悪いですがそのままトイレの消臭剤に使えます。そのギャップがおもしろい木です。

三重県ではそこらじゅうで出会える木なんですけど、典型的な先駆種(パイオニアツリー)ですから、太陽の光が当たるところでないと見られせん。

**注意！ Attention！ 森林での安全作業 ～刈払い機～**

【櫻井】

前号までの「安全作業」は伐木についてでしたが、今回は刈払い機における「安全作業」について述べたいと思います。

刈払い機による事故は多く発生しています。転倒して自分の足を切ってしまった、キックバックしてその反動で自分の足を切ってしまった、などの事例があげられます。刈払い機は、一般的には草刈り機といわれていますが、「草刈り」と「刈払い」との違いは何か分かりますか？

林業では、草だけではなく灌木なども刈り取ります。労働安全衛生法に基づく特別講習資料によれば直径8cmまでは刈払い機で刈り取っても良いとされています。また、斜面での刈り払い作業が多いこともひとつの特徴です。このため、プロの林業家が使っている刈払い機には、吊りひもや肩掛けベルトのない一本棹のツェーグリップの機械を見かけます。

今回は我々アマチュアが刈払い機を使う場合の参考にと、経験から述べてみたいと思います。

肩掛け式・・・必ず腰バンド付であること。

- ・刈払い機が腰に固定されているので、転倒しても刈刃が足に届かないので切ることはない。
- ・地拵えはキックバックが非常に多く起きる。キックバックを起こしても腰に固定されているので、刈払い機を飛ばされない。
- ・腰が支点になるので、刈刃の高さを一定、かつ、地面に平行に保って刈払いしやすい。また、斜面に沿っての刈払いが安定する。

Uハンドル

- ・両手で操作棹を握っているので安定して振ることができる。また、振る幅を大きくすることができるので作業効率が良くなる。
- ・ループハンドルやグリップハンドルは、腕で振るので負担が大きく疲れる。
- ・防振手袋を必ずはめること。
- ・チェーンソーよりも連続使用するので、振動障害が大きい。
- ・防じん眼鏡を必ず着けること。
- ・刈払った木片、草の汁、石などが飛散する、出来れば顔面防護が良い。
- ・ナイロンロープは、石が飛散するので、エプロン、すね当てを付けたほうが良い。
- ・操作中は、何も聞こえない。
- ・叫んでも聞こえないので、遠くから石や小枝を投げて知らせる。
- ・エンジンが止まるまで絶対に近づかないこと。
- ・後ろから近づくことは非常に危険なので避ける。

その他、安全作業の方法、手順については安全衛生教育資料に記載されていますので参照してください。

Uハンドル付き本体  
ヘルメット  
腰バンド、防振手袋  
ゴーグル、エプロン





随筆 Essay 薪割り

【南条】



手斧で薪割りをした。

敷地内の桜の木が2本虫食いで枯れていたのを切り倒してもらい、薪用に輪切りにしてもらったものだ。全部で約30本。太さは大きいもので30cmもある。それが積み上げられたのを見たときは、とても無理だと思い、薪割り機を拝借しようかとも考えた。が、とにかく細いものだけでも割ってみようと、斧を引っ張り出して始めてみた。すると、久しぶりの薪割りだったせいか、結構面白い。

桜の木だったので柔らかく、特に節のないところなどパカーンと割れて気分爽快、日頃のストレス解消にも効果絶大である。

虫食い状態の部分を割ると、何の幼虫が解らないが白い芋虫が巢食っていたり、中が蟻の巣になっていて無数の蟻が飛び出してきたりする。出てきた蟻はあっという間にどこかに姿を隠すのだが、逃げながらも抜け目なくその幼虫をしっかりと大勢で運んで行くのであった。

こうしてみると木って最後の最後まで余すところなく誰かの、何かの役に立っているんだなと改めて思う。盛りの時は日陰を作り、空気を浄化し、鳥の羽を休め、枯れてもなお昆虫の住処となり、栄養を与え、その枝や葉は土壌を豊かにし、人間にとっては炊きつけともなり、太い幹は薪となって暖を与える。

以前はただしんどいなあと思って薪割りに汗を流していただけだったが、森林の風の活動を知ることによって、これだけ木に対する感じ方が変化してきたんだなと、自分ながら思いを新たにしたものだ。木に比べて自分の人生はどうなんだろう、ずいぶん無駄に過ごしている部分もあるよね、と自分に問いかけた私です。

(...って誰が言ってるの?)

まだまだ若いんだから未来を見つめて頑張ってください。

SIDE2 現場の応急処置の話

【井伊】

西丹沢の人工林で、二人で標準地調査をしていた時のこと。「うわわっ」・突然の同僚の鋭い叫び声に振り向くと、「蜂だ～～」と転がるように逃げる姿が目に入り、反対方向に目をやると 目通り50センチ近くあるだろう檜の根本で戦闘態勢に入った小型の蜂の群れが見えた。ヤバイ！！

「大丈夫？」と声をかけると「イヤー、やられたナ～」と右手の手首あたりを痛そうに見ている。私は、蜂との距離を確認後、すぐに同僚の傍にいてザックから小型救急箱を取り出した。傷は2か所。ポイズンリムーバーで吸引を繰り返すと血が出てきたのでそれをマキロンで洗い、ティッシュで拭いてからムヒを擦りこんだ。傷口が腕だったこともあり手当しやすかったのだが、その手際の良さと、この場で吸引器が出てきたことに同僚も関心した様子。しかし手当はこれだけではない。後から少し腫れて来た患部を冷やすために「熱さまシート」をペタ。けっこうこれが気持ち良いのである。結局これが効をそうしたのか 当日はそのまま予定通り作業し、翌日には腫れも引いて よかったヨカッタという話。まさしく備えあれば憂いなしです。



## 活動報告

## 鈴鹿川海山交流会(海編)

2011年7月9日(土)

鈴鹿市漁業協同組合、鼓ガ浦海岸

参加者:鈴鹿市白子漁協とその  
家族、亀山市加太  
みどりの少年隊 計 80  
名 会員:5名



鼓ガ浦海岸で1時間ほど清

掃活動を行ったあと、鈴鹿市水産研究室で勉強会があった。勉強会では、伊勢湾に生息する生物について学び、赤潮プランクトンでにごった海水をアサリが浄化する様子を観察した。【水野】

山編は、5月14日に亀山森林公園内であり、森林の風はノコギリ間伐や巣箱作りの指導を担当しました。海編は毎年参加者として加えていただいています。

## 菰野町みどりの少年隊「御在所岳保全活動」

2011年7月9日(土)

御在所岳山頂

参加者:菰野町みどりの少年隊とその保護者 86名

参加会員:5名

シカの食害を防ぐため木に防護ネットをまいた。【瀧口】

## NTNこもれびの森

2011年9月18日(土)

桑名市多度山こもれびの森

会員:5名 参加者:1名



秋の森林保全イベントは11月19日(土)に決まった。そ

のイベントに向けて、植樹場所の整備及び植樹場所までの作業歩道の整備を行った。【松永】

## 県民の森 草刈り隊

2011年7月12日~22日

菰野町県民の森

参加会員:延べ24名

依頼のあった県民の森の行事予定もあって期限付きで請負い、なんと

とか納期ギリギリに完了した。森林の風がふだん利用しているチップソーの草刈り機ではなく、ロープを使用する指示があり、ほとんどの会員が初めての体験だったが、徐々に慣れた。



【大石】

## 現在施行進行中 (回数は目安)

向井F1の森(月2回) 測量、歩道整備

亀山矢の峰(月1~2回) 間伐、搬出

亀山野登(月2回) 間伐、間伐練習

四日市西山町(月1回) 植樹のための除伐、整備

四日市下大久保(月1回) 竹林整備・竹ポット作成

## &lt; 定期活動日 &gt;

第3日曜日 NTNこもれびの森 / 第2・第4日  
曜日 みえぎんまなびの森

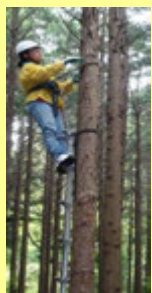
## 今後の予定 (詳細はHP等でご確認ください)

10月22、29日(土) 多度山森林ボランティア育成講座

10月23日(日) 常磐西小学校の学校林行事

11月6日 国際森林年行事 西山町植樹

11月19日(土) NTNこもれびの森植樹



**まちのきこり人育成コース** では、ノコギリ間伐、枝打ち、チェーンソーによる丸太切りやメンテナンスなどを体験してきました。10月2日はいよいよチェーンソーによる伐倒やかかり木処理を体験します。

**育樹コース** では、植樹や種子蒔きを体験してきましたが、秋を待った最終回、種子採取をします。採取した種子はすぐにまけるものはすぐにトレイにまきます。来春を待つまでもあります。芽が出るかな? こうして木とのつながりは続いてゆきます。

来年度のまちのきこり人育成講座もどうぞよろしく。ご参加お待ちしております!



## まちのきこり人育成講座 進行中!